

# みぶ町政だより

## 2月号

昭和50年2月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年9月30日第三種郵便物認可一部9円



## 節分祭行う

恒例の節分祭は、2月3日壬生寺の境内で盛大に行われました。

この節分祭には、慈覚大師の誕生地の壬生寺で行われ、この日は東京はじめ、各地からバスを貸切ったの団体参観人が訪れて、約4,000人の人波でにぎわいました。櫓の上では、この不景気を追い払うように「福はうちノ鬼は一そと！」掛け声ましく豆がまかれました。

### 今月の人口

| 2月1日現在     | 対前月比   |
|------------|--------|
| 総人口 30,313 | 139人増  |
| 男 15,114   | 61人増   |
| 女 15,199   | 78人増   |
| 世帯数 7,480  | 147世帯増 |

3月は“緑化推進の月”（木や花を植えましょう）



成編算予  
談懇政町

う子弟で、それが実施されればこの問題も自然解決できます。

○ 文部大臣 然るに強硬、強要する事は、不可能なことだと思いますが、資料館を建設してはいい、本町は、歴史のからみで、資料の豊かさを誇って、決して資料の豊かさを毀損しては、しないが、予算編成期に当り予算上を要します。

○ 答 歴史的に古く本町も、ありますので、出来るだけ早、機会に建設にしたいと思います。

○ 町長 壬午町内は、じの血清組合を作った、この組合に対する何らかの助成を願っています。

○ 答 献血運動には協力しており、十分好評です。助成金について、南坪から。

○ 町長 南坪が、自治沿の職員、屋に通ずる道路を、舗装された。

○ 答 南坪の部から、要望がありました。この道路は幅が狭い、区画整理事業はなされていません、拡張を促させて実施しない考へております。

問 区画整理事業は、絶対反対をする人は、はなはだ少なくなつて、将来の重要な骨格となるために、思い切つて実施してはどうか。

答 審議会の委員の立補者がたならぬため、実施出来ないのて、みなさんご協力をお願いいたします。

問 四日クラブは、農業経営者の集まりです。資金が乏しいため、思ふように事ができないので、助成金を五年年度には増額してはどうか。

答 外部の交流も考え出来る限りの村費を。

問 最近食糧不足な足知れば、最近の米作が、不産業者が一度買上へ排作をは、棄してゐる土地が多くあられます。このよき土地に農業業者に燃えてゐる人に町して何んかの手を打つて、業者から借してもらうよき米作をかんでは、農業業者さんなどと同様に十分話し、対処していただき、と思ふます。

問 稲葉の生徒が非常に少なくなくては来てゐる。うむきに聞くところ五年年度はさらに先生数が減つてゐる。この言うところは、学力が監するのではなから、心配しておます。

答 この間をもう一歩押進めて考へては。

問 稲葉中の教育効果、非常に問題になつていますが、進学率

も九一校で、二進歩している。これ教育効果も上げるために、少くとも十校中二校の場合、学校の規模を考へるに中学校、統合の問題を考へてもらいたいです。

(答) 先生の教員問題からして、事實の効力が叫ばれていることは教育上、

壬生中の問題にして生徒大六人中に増加するに當り、場所でも中々に増加する。そこで當該校に場所にはないが、壬生中、稲城中が統合した近似的な中学校建設する以外にない、考えます。

(問) 城東町の地域は大雨の時は毎年五、六回も洪水にもなっているのは、何んかともならないか。

(答) あの場所は、氾濫がないので流れの早いのが状況です。しかし、下水処理場の建設、設計計画を予定しているでも、もしもいばらくお待ちください。

(問) 町の将来定住制度の交付の額をも、十増額してはどうか。

(答) 敬老福祉基金の受給者の年令を引き下げて、現行七年から五年に増額して支給しているが、これを七増額された。

(問) 議会でも議論されているところで、

平均年令が十七歳と延びて来ており、十増額してはどうか。

(問) 移動入浴車を購入したと聞いて、

(答) これについては、宇部富田市で実施しているようで、大受好

評を得て、まして、しかし、これほど大変な難しい問題があらわに医師の断絶による入浴せざるを得ない状況で、この道は、どうしていいものか。使用時間の点で難し、このことに基づき、方法もいろいろです。で検討しようと思ひます。

(問) 老人クラブ、自治会長、保健委員との手当てが少ないので出来る限りの増額をしてほしい。

(答) 十分考慮してみます。

(問) 町のマイロボパスの専任職員を採擧してほしい。

(答) マイロボスの運用についてについては、町に運行交代しながらが、ついでに実施しているの難しいといふあたりまで、したがって何んでもない使役するところには出来ません。

(問) また、陸運事務所規定もありありませんので、了承ください。

(答) 青年団体協働会の助成金(会費)を増強したい。

(問) 十分検討します。

(問) 農政問題について、昨年は不作により非常に農業所得が少なくなっているため、適正な課税をしてほしい。

(答) 昨年の被害を受けており、今の手では、課税の返受を受ける方法が実行できないと思ひます。

(問) 徳沼・石橋間の道路路側欄干設置工事は足利市に至るまでで、道路が狭い。この道路は、道路法によってあるの、字や町界を越えて、非常に危険な状態にある。

(答) この道路は、仮装とせばいいけれども、いと言つてを前に進めればならぬ可能性がある。

二月二十八日から三月三日まで、春の三回火災予防運動。毎年春先は、空気が乾燥して火災が起りやすく、大火火災の多発しやすい季節ですから火の取り扱いには十分を要します。

昨年二間にわたり五十五件の火災が発生しております。このようすから火災の原因は、石油コンロ、ストーブ、石油カスス風扇などからの燃焼による失火火災がほとんどです。

火災ははるかに「人災」に属するものが多く、少しの注意で防げます。一人一人が防火習慣を身につけることが大切です。火気使用所での点検、就寝前の点検は必ず行うようにしてください。

寝たばやタバコの投げ捨てで火災を起す元ですから絶対にやめましょう。

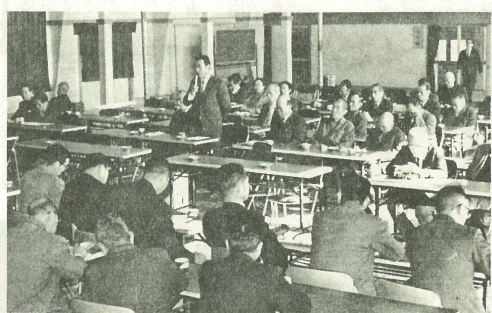
にしん」と考えています。

春の火災  
予防週間

火災予防

50. 2. 24發行

期に当り  
会ひらく



**命題** 昭和五十年度の町政懇談会は、一月二十日午前九時から中央公民館で各団体代表者多数出席して開かれた。懇談会には、主催者と町長はじめ各課長が出席し、また、議案は、議決はじめ各議員が出席した。この町政懇談会を開く目的は新年度の予算編成を期し、明らかに、町民の意見を聞き取りたいものとして、町民の意見に町づくりに関する要望に即応したい、そして豊かな町づくりに関心したものではない。

要案は、学校教育問題、農政問題、社会福祉問題などに集中し、活発な懇談会となりました。

なお、この懇談会には、従来は壬生地区、稲葉地区、南岡地区の各地区毎に開催しておりましたが、今回は同地に会して開催された。

ものいたい。

(金) 町には表彰制度がありません。そしてその表彰規定に基づいてやっています。

また、努力等にも表彰しております。

(前) 前首相から田向に通ずる路を是非並装道路にしてほしい。

(金) この道は、狭いので幅幅を広いと難いので地権者の方々の協力を願ひし、早い機会に実現したいと考えています。

(王) 壬土地改良格協議会、藤井宮農園(へ助成金の増額を希望)

(金) 出来るだけ考慮してみます。

(中) 家中国谷線の第種果実道路が通っている。これは非常に道が増え、特に大列車が通るので道路はいっぱい。

（会）「道路は、県道ですので、町も努力して県の方にお願いしたいと思えます。

（市）町では、福祉車庫築造といたして老人七歳以上の町民の無料を行ってありますが、他市町では十歳や十五歳以上の医療費の無料化を実施しているところがあるので、この点につきましては、検討したいと思います。

（市）この点につきましては、市議会において質問があり、他市町が実施しているところもあるという聞いていますが、当町においては、十分に検討してみようと思います。

（市）宇都宮市街連泊に住宅が新築されてきて、ここに併って特に幼児教育の問題で町の保育所が三カ所ありますが、実際に増しているところ、六美町、おまや園地、東武町連泊に町民保育所が必要なので設置された。

（市）五和のと町には、三所の保育所と昨年町内に開園した財団法人の壬生寺保育園があり、また、地場的にはまだ足りない所があることは事実です。

この件については現在調査中で

[illegible]

\_\_\_\_\_



## 羽生田青年竹の会が優勝

### ― 第五回青年団駅伝大会 ―



しました。  
その結果は、次のとおりです。  
○青年団の部  
一位 羽生田青年竹の会(A)、二位  
二 国谷青年団、三位 井青青年団  
(A)、四位 上稲葉青年団、五位 井  
羽生田青年竹の会(B)、以下 助谷、  
藤井(B)、北小林、下馬木、セツ石  
藤井南の順でした。  
○一般の部  
一位 〆のくろ、二位 日産自動車  
一位 〆のくろ、二位 日産自動車

### 藤井小へ自転車の贈り物

交通指導員の荒川政雄さんは、  
去る一月十三日藤井小学校へ子ど  
も用の自転車二百台贈られました。  
藤井小では、今までに交通指導  
用の自転車が一台中、各家庭  
から持ち寄って指導を受けていま  
した。  
今度の荒川さんの贈り物は、藤  
井小の児童たちが、正しい自転車  
の乗り方、安全な運転の心得を  
この、子どもたちは勿論先生や  
父兄さまが大喜びです。  
低学年向けの自転車一台と、中  
高学年向けのもの二台で、自転車  
の乗り方や交通ルールを実践を通  
して訓練できますので、荒川さん

### 教室の床みがき

奉仕

昭和油化株式会社では、一月六  
日藤井小一年生の教室の床みがき  
をしました。  
藤井小は、昨年度に続いて二カ  
年にわたり、町が修繕工事として  
フロリング材で五教室の床張りを  
しました。  
過日、地元藤井にある昭和油化  
の社員の方々が訪問され、床み  
がきをして住みよい環境の中で勉  
強してもらいたいと教室を洗浄



毒を視察する議員たち

し、グリントン床用油性ワックス  
を塗ってくださった。  
児童たちは、「すべらないでび  
かびかした床で気持ちいい」と  
言っています。  
これらの掃除もみんなです。  
生徒たちや先生、昭和油化のおじ  
さんたちに感謝しています。

### 対策を

赤ナシの大敵、赤星病は、肥子  
がウイルスカイヘキ、ハイブリッド  
類に寄生し、空中伝播して感染  
します。  
これらの木を梨園の周辺に植え  
ないよう、また、話し合いもつ  
て樹木は、他へ移植してもつて  
本病の多発を防ぎましょう。  
本病の対策としては、以上のほ  
か、三月下旬までにクロン・五  
%加用石灰硫黄合剤四〇倍液をけ  
ヤシ類に四月に五月にかけて  
では、グレイセン、ダイアフェノ水和  
剤などの四〇%倍液を果樹を添  
加のう散布すると効果があります。

### 梨の赤星病の

対策を

赤ナシの大敵、赤星病は、肥子  
がウイルスカイヘキ、ハイブリッド  
類に寄生し、空中伝播して感染  
します。  
これらの木を梨園の周辺に植え  
ないよう、また、話し合いもつ  
て樹木は、他へ移植してもつて  
本病の多発を防ぎましょう。  
本病の対策としては、以上のほ  
か、三月下旬までにクロン・五  
%加用石灰硫黄合剤四〇倍液をけ  
ヤシ類に四月に五月にかけて  
では、グレイセン、ダイアフェノ水和  
剤などの四〇%倍液を果樹を添  
加のう散布すると効果があります。

### 保育所へ贈り物

○保育所  
○ボーリング一式  
山口幸子殿(安芸)

タバコは  
町内で  
買いましょう

## 交通災害共済に加入しよう



万が一に備えて、加入されてい  
る方は更に引き続き、まだ加入さ  
れていない方も是非家族として  
加入しましょう。  
★加入できる方は  
県内に住所のある方、外国登録  
をされている方、県内の事業所ま  
では学校に通っている方  
★掛金は(金額)  
◎三月三十一日以後加入する方は  
昭和四十九年四月一日以降に疾  
病の治療などに輸血を受けた方で  
当該血液代金を自己負担した方  
を支払った方は、自己負担金支払  
った日の翌日から起算して一年以  
内に、血液代金支給申請書に医  
療機関で輸血明を得て、栃木県  
赤十字血液センターに提出します  
と自己負担金が返ってきます。  
この申請用紙は、医療機関、保  
健所、県血液センター、同出張所

### 血液代金が無料化に

にありまから活用してください  
申請手続きについての問い合わせ  
先は  
栃木県赤十字センター  
(電話)八六(二)八二九  
栃木保健所  
(電話)二八六(四二二)

### 倉井さんが農林大臣賞

県と県農業協会の今年度  
重要関係の表彰授与式は、一月十  
七日午前十一時県庁の大講堂に約  
二百五十人の重要関係者が集まっ  
て開かれました。  
この席上で、厳しく農業界の中  
で衛生生産七千キロ突破した藤  
井の倉井寛さんが、農林大臣賞を  
受賞されました。  
賞状は衛生生産向上コンクールで、  
大臣賞を受けた倉井さんは、四十  
六年に達成から賞状を賞一本に切  
替へ、休耕田桑園などを活用して



私たちの人権は、正しく守ら  
れていよう。  
私たちの日常生活に水や空気が  
欠かれないように、私達が幸  
福な生活を送るのには、お互いの  
人権が尊重されているなければ  
なりません。  
この大切な人権は、みなさん  
方のお互いの努力によって育て  
守らなければなりません、あ  
んなの地域の人権擁護委員は、  
みなさんのよう相談相手になり  
ます。  
相談は無料で、毎月第一火曜  
に役場日曜で行っています。  
内容の秘匿は固く守ります。  
これから身近な事例を  
とらえて、みなさんともに人  
権について一緒に考えていき  
ましょう。

現在五、三ヘクタールの桑園を造  
成、今年度は春蚕、初秋蚕、晩秋  
蚕で、百箱(年間四回はき立)を  
飼育し、みこ(県一位)の衛生生  
産となつた。  
また、桑園園主会が努力賞で、  
水野昭吉さん(一坪)と黒川正男  
さん(原宿)、桑園優良生産者  
として杉田進、さん(原宿)の三  
人がそれぞれ県知事賞を受賞され  
ました。  
また、王生町の生産者四十七戸  
桑園面積三三六、一七九、衛生生  
産は三七、〇〇〇キロでした。



## お知らせ



## 母子健康相談

◇とき 三月七日(金)  
三月十四日(金)  
三月十八日(火)

時間はいずれも十時から  
二時まで

◇談話地区 壬生地区、南大飼地区の満・歳未満の赤ちゃんです。

◇ところ 中央公民館

## 三カ月児検診

◇とき 三月十九日(木)  
午後一時二十分から  
三月二十日(金)  
午後一時二十分から

◇談話者 十一月二十日から十二月十九日まで生まれのお子さん

◇ところ 中央公民館日本間  
(母子健康手帳を持参すること)

## 免許更新新講習

三月の日程は、次のとおりです  
○六日(木)、二十日(木)

○場所 中央公民館  
○時間 いずれも十時から

## 一般健康相談

成人、老人、その他の健康相談  
についてお気軽にお出かけください。

◇とき 三月十八日  
十時から二時まで

◇ところ 中央公民館

## 妊婦検診

◇とき 三月十(月)  
午後一時から

◇ところ 母子健康センター

◇談話者 壬生町に居住する妊娠婦の方

## 廃犬引き取り日

いらない犬は、はなさないで廃犬引き取り日に出てください。

○日程 三月十一日(木)

## 当番医師のお知らせ

三月の日曜、祭日は、次の医師  
以外は全部休診になります。

◎当番医師の往診はできません。

| 日    | 町名  | 医師名    | 電話    |
|------|-----|--------|-------|
| 二日   | 舟町  | 早川 医院  | 02110 |
| 九日   | 安塚  | 島田 医院  | 0011  |
| 十六日  | 上通町 | 小倉光 医院 | 0057  |
| 二十一日 | 仲通町 | 木村 医院  | 0056  |
| 二十八日 | 上稲葉 | 渡辺 医院  | 1030  |
| 三十日  | 城内  | 陣内 医院  | 0242  |

時間は午前九時から午後四時

三月二十六日(木)

## ○場所および時間

役場本庁 九時まで  
南大飼支所 九時十五分まで  
稲葉支所 九時二十分まで

## 善意銀行

壬生町商店連合会では、二月十三日善意銀行へ金六、五〇四円寄附します。

## 事業所のみなさんへ

現行の失業保険法に代って本年四月一日から施行される雇用保険法について、次のように説明会を開催しますから、関係者のご出席をお願いいたします。

◇とき 二月十一日(木)  
午前九時二十分から

◇ところ 栃本市市民ホール

職業安定所が主催します。

## 交通安全母の会だより

壬生町交通安全母の会は、壬生町に在住する婦人をもって組織され、その中で役員を構成し常に交通安全運動のため、町当局を始め交通安全協会、交通指導員の方々の指導を戴き、積極的に協力しております。

母の会目的は、交通安全上の問題を理解し、そして子どもに正しい交通ルールを指導し、交通事故防止に努め、会員相互の親睦を図ることにあります。その目的を達成するため、家庭内における交通安全の役割は大きく、次の事項に十分理解されますよう協力をお願いします。

- 家庭内で話し合いを。常に交通安全に注意する時は、安全運転をするよう注意する。
- 子どもや老人が出かける時、愛の一声、運動を促す。
- 運転者には、酒を飲ませぬこと。
- 家庭内で話し合いを。常に交通安全に注意する時は、安全運転をするよう注意する。
- 子どもや老人が出かける時、愛の一声、運動を促す。
- 運転者には、酒を飲ませぬこと。

## 商工業設備資金の

## お知らせ

店舗の増改築や機械設備購入を円滑にするため、町では設備合理化資金融資制度を設けて融資を行っておりますから、ご利用くださるようお知らせします。

★申請窓口 町内金融機関

★融資限度額 一五〇万円

★融資期間 五年

★利率 年七・五%

なお、詳細は経済課商工係へご相談ください。

## 柔道部が発会

壬生町柔道愛好家は、待望していた柔道部が去る一月十一日から新しい青い畳を利用し、本格的な練習稽古に入りました。毎週火曜日に土曜日(いずれも午後六時三十分から)中央公民館で常時練習を行っていますので、参加してください。

なお、連絡員は次の方々です。  
黒川三男(万町) ②〇二八  
津久井重雄(下町) ②〇四七  
佐藤善光(六美町) ②〇五四  
神長英幸(下町) ②八六二  
日石誠治(城東町) ②〇二〇  
宮原正寛(東第二) ⑥一〇一